

## 令和3年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、継続して日立市かみね公園内の「ゆうえんち」及び「レジャーランド」の遊戯施設運行、飲食及び販売事業の展開のほか、来園者に「かみね公園」の四季折々の魅力を楽しんでいただくために、年間を通して季節に応じた様々なイベント等を開催しています。

合わせて、日立市が設置した観光レクリエーション施設である「奥日立きららの里」、健康増進施設である「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の指定管理者として適正かつ効率的な管理運営を行っております。それら5つの施設運営等を通し、日立市民をはじめ、市外・県外からの多くの来園者に憩いの場を提供することにより、福祉の増進と地域活性化に寄与すべく努めています。

令和3年度は、前年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、茨城県及び日立市の要請等に基づき、年間を通して利用者が多く見込める8月6日から9月30日までを全施設休業としました。

なお、各施設の営業に当たりましては、前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、利用者数の制限、各種イベントの中止や縮小、施設内各所への消毒液や飛沫防止シート設置など、利用者及び従業員の感染予防策を十分に講じながら、安全衛生管理に努めてまいりました。

以上のとおり、一時休業や利用制限等を行いながらの営業でしたが、諸施設の利用者数及び事業収入は、前年度より増加したものの、コロナ禍以前と比べると激減している状況です。その一方、運営施設の利用者から新型コロナウイルス感染者が発生しなかったことについては安堵しており、引き続き感染症予防対策の徹底を図ってまいります。

本年度も、前年度に続き、厳しい経営環境となりましたが、徹底した諸経費の節減や各種助成金等を活用するなど、常に収支状況を考慮した柔軟な事業運営を行い、健全経営に努めてまいりました。

## I 事業内容

### 1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「レジャーランド」及び「ゆうえんち」、さらには日立市から受託している「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の管理運営事業のほか、小規模イベントの開催や自主事業として各種教室等を展開するなど、コロナ禍においても可能な限り利用者に満足していただけるサービスの提供に努めました。

#### (1) かみね公園の事業

##### ア かみね公園全般の事業

公園内での各種事業は、中止や規模を縮小した催事の開催となりましたが、開催に当たりましては日立市や関係団体と連携しながら実施しました。

例年は、日立市の代表的な催事として、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園と平和通りを中心とした「日立さくらまつり」の開催に伴い、本協会もかみね公園会場運営の一部を担っておりますが、本年度も前年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

また、年間を通して最も多く来園者が見込めるゴールデンウィーク期間は、利用者数の制限や規模を縮小したイベントを開催するとともに、園内無料シャトルバスの運行や交通誘導警備員を配置し、来園者の利便と混雑防止を図りながら営業しました。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響により休業したこともあり、本年度は多くの方の来園を期待しましたが、残念ながら来園者数は例年の概ね35%と伸び悩みました。

さらに、日立市の夏の風物詩である「日立あんどんまつり」も休業期

間と重なり、昨年度に続き中止としました。

コロナ禍による休業期間が終了した後は、引き続き各施設とも徹底した感染症予防策を講じるとともに、来園者に少しでも公園の魅力を感じながら楽しんでいただけるよう心を込めたサービスの提供に努めながら「秋のイベント」や「正月イベント」などを開催しました。本年度10月以降、下期の来園状況は、天候に恵まれたことに加え、市外からの児童、生徒の遠足など多数の団体利用があり、多くの方に来園いただきました。コロナ禍前、例年同期の人数と比較しても、それを上回る来園者数となり、予想以上の売上増となりました。

なお、前年度にレジャーランド、ゆうえんちに導入したキャッシュレスシステムは、利便性の向上が図られ、利用者から好評を得るとともに客単価の上昇という効果も現れています。

#### イ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の大型遊戯施設を有する遊園地であり、例年は、子どもたちが楽しみにしているキャラクターショーの開催(年間10回程度)や低廉な料金でのりものを利用できる乗り放題デー等を開催しますが、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からキャラクターショーは中止し、乗り放題デー等のイベントは規模を縮小して開催しました。

なお、入園無料期間は、例年どおり6月と2月に実施し、来園者サービスに努めました。

#### ウ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設されており、比較的低年齢層の来園者が多い施設です。例年は、利用者層に合わせた3世代ファミリー無料乗車券のプレゼント、七五三時期の千歳飴プレゼント、ハロウィンイベン

ト、冬の動物園&ゆうえんちまつり等を開催し、来園した幼児・児童そして家族から好評を博しておりますが、本年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から規模を縮小しての開催としました。

## (2) 受託事業

「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の3施設は、平成18年度に日立市から指定管理者として指定され、継続的に管理運営を担っています。令和3年度は指定期間5年の1年目ですが、引き続き日立市の意向を十分に踏まえ、感染防止策を徹底しながら、諸施設の特性を活かした諸事業を展開し、安全かつ効率的な管理運営に努めました。

### ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえて、市内外の方々に自然に親しみ、自然とふれあう場として広く利用していただけるよう、施設の管理運営を行いました。例年は、施設の特性を活かして、春まつり、秋まつり、世界のクワガタ・カブトムシ展、ホテル観賞会やレクリエーション大会など1年を通して各種イベントを開催しますが、本年度も昨年度に続き、ほとんどのイベントを中止とし、来園者の密を回避するイベントのみを行いました。

### イ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設として市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえて、管理運営を行いました。本年度も浴室等を有する地階施設の利用者数の制限等を行いながら、自主事業としてエアロビクス教室や各種体操教室

等を開催しました。

また、1階ロビーの一部をギャラリーとして市民に開放し、写真展、魚拓展や押し花絵展等を開催しますが、本年度は観覧者の密を避けながら、休業期間終了後から開催しました。

#### ウ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえて、管理運営を行いました。本年度も利用制限を行いながら、自主事業として水泳教室、水中エアロビクス教室及び水中ウォーキング教室を開催しました。

## 2 収益事業【販売事業】

かみね公園内及び奥日立きららの里内等における便益事業として、感染防止に十分配慮しながら物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

### (1) 施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業は、恒常的な販売事業のほか、更なる収益増を図るためオリジナル商品、新規メニュー及びオリジナルメニューの開発を行うとともに、季節ごとのメニューの販売を行いました。

出店事業は、高校野球選手権茨城県大会の際に、日立市池の川運動公園売店に出店しました。合わせて、休業期間終了後には、道の駅日立おさかなセンターへ週末ごとに出店し、収益確保に努めました。

### (2) カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、比較的大型のゲーム機を設置し、コーナーを設けて運営しました。利用料金は100円から200円で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

### (3) プレイランド運営事業

レジャーランド内において、100円から200円の投入式ゲーム機及び定置式のりもの等を設置したゲームコーナーを設けて運営しました。

## II 管理施設の利用状況及び売上実績

### 1 利用状況

#### (1) かみね公園

(単位：人)

区 分	遊園地	レジャーランド	市民プール	ホリゾン	合 計
3 年度	278,347	54,743	36,481	30,410	399,981
2 年度	238,078	38,258	31,546	26,182	334,064
増 減	40,269	16,485	4,935	4,228	65,917

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数を計上

#### (2) きららの里

(単位：人)

3 年度	43,483
2 年度	39,917
増 減	3,566